

観光と住民の生活の両立を目指す 出雲大社周辺における渋滞対策の検討

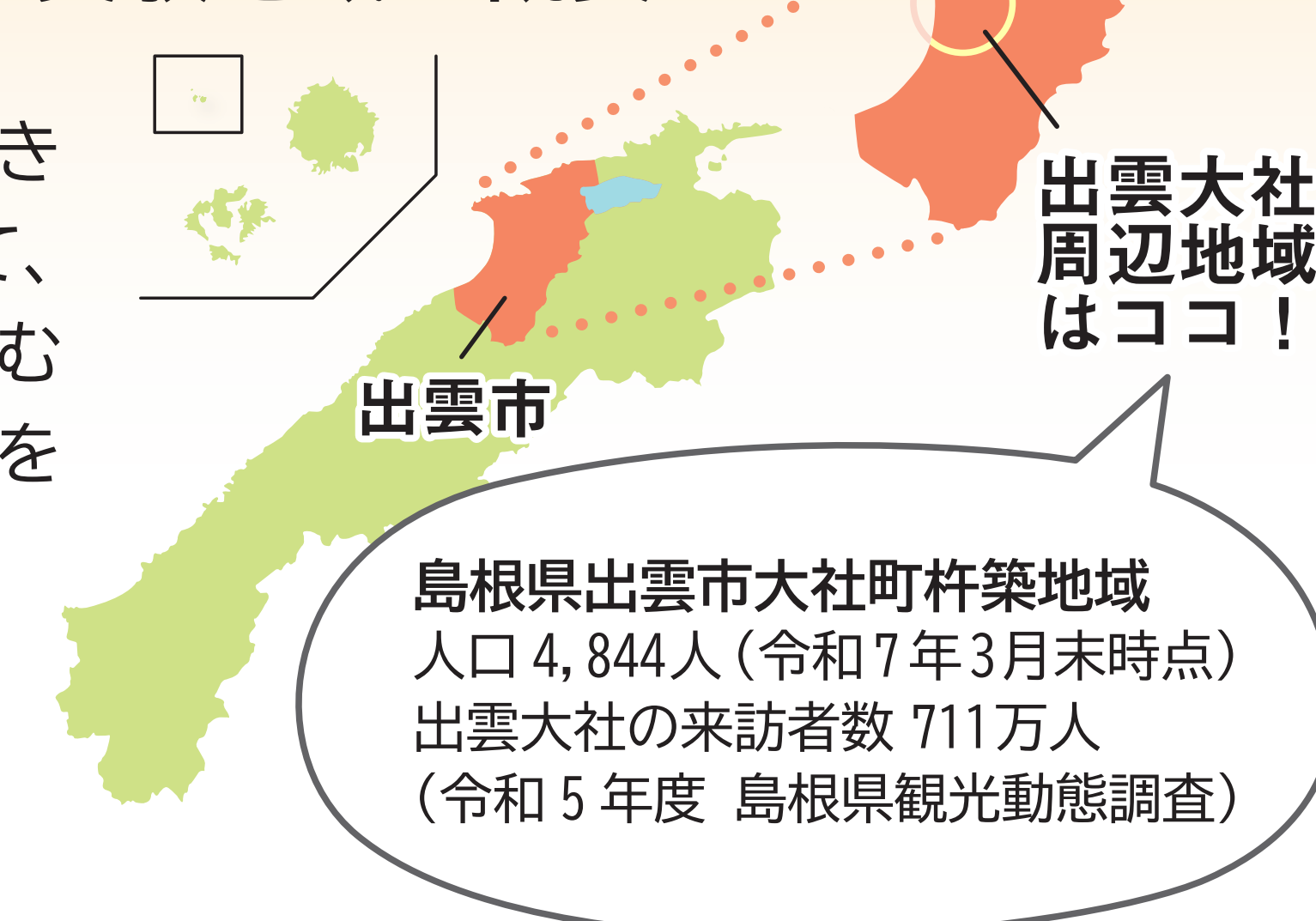
佐藤亜美・福井のり子 / 株式会社バイタルリード、出雲市観光交流部観光課



01 背景と目的

- 出雲大社の参詣道である神門通りは、平成22年にシェアド・スペースの整備が進められたことでまち歩きが促進され、観光客が増加している。GWや年末年始、神迎神事が行われる11月などの多客日において、多くの観光客が自動車で来訪することによる深刻な渋滞が発生しており、観光車両が生活道路に入り込むなど住民の日常生活にも大きな支障が出ている。こうした背景を踏まえ、出雲市では様々な渋滞対策を実施してきた。
- 本実験は、各対策の効果検証及び新たな対策として交通対策協力金などの実証実験を行った。

実験地域の概要



02 実験の概要と調査結果

1 渋滞対策の実施

交通対策協力金



出典：国土地理院「数値地図(国土基本情報)」を下図として加工して利用

実施期間

令和6年11月1日～
令和7年1月5日(計66日間)
※店舗は調整できた場所から実施

実施場所

駐車場3か所
店舗90か所

支払い方法

現金またはJ-Coin Pay
※駐車場では車1台あたり200円を呼びかけ、店舗では金額を決めない完全募金型として実施

集金結果

駐車場は
1日あたり 平均16,748円

実施場所	集金金額(円)
かめやま広場	641,158
みせん広場	120,572
古代出雲歴史博物館	343,619
店舗(90か所)	50,554
合計	1,155,903



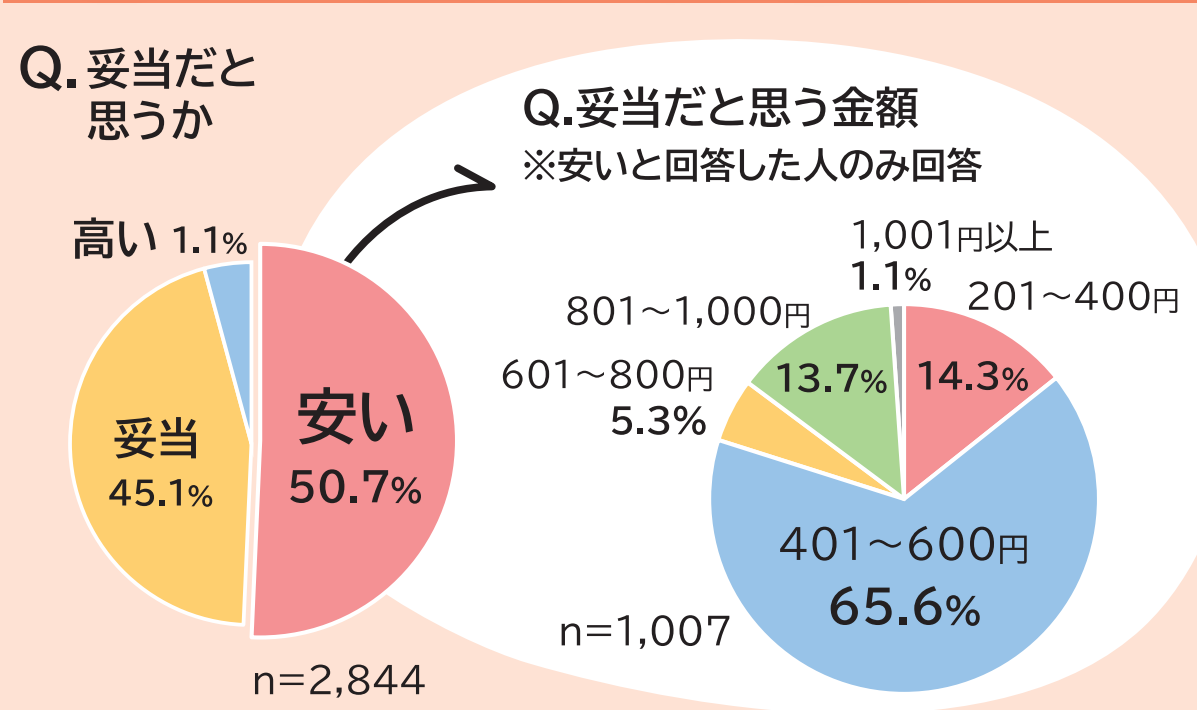
▲駐車場に設置した看板と募金箱



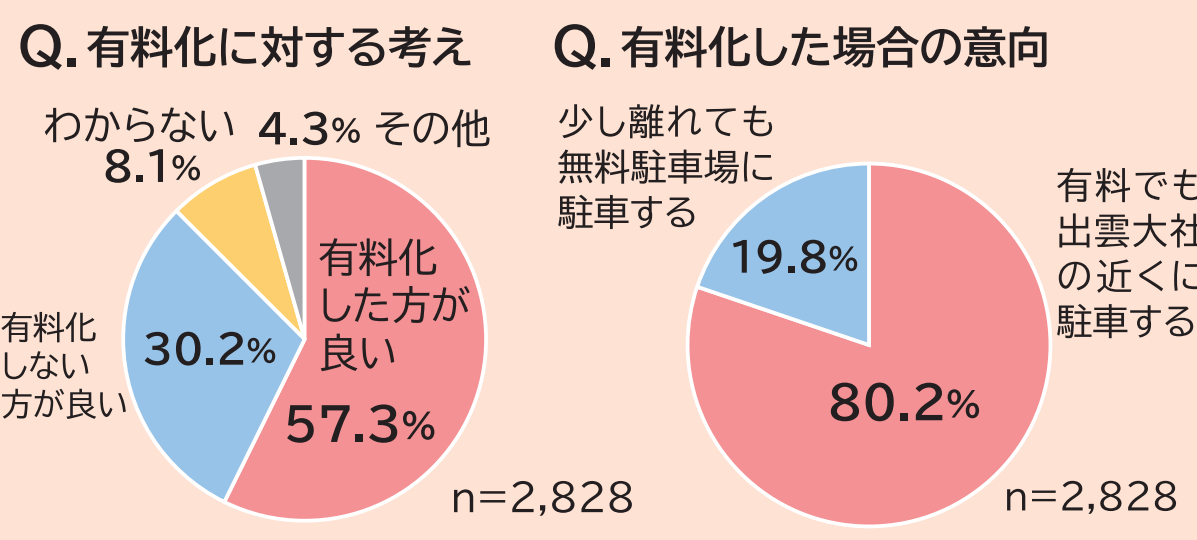
▲店舗内に設置した募金箱

観光客へのアンケート調査・ヒアリング調査結果

1台あたり200円の協力金額について



駐車場の有料化について



- 出雲大社外苑駐車場へ出入りする交差点などにおける交通規制や警備員の配置、大型観光バスを対象とした大型車レーンの駐車管理(バスコントロール)、臨時駐車場の確保

Webサイトの構築

- 混雑予報カレンダーや交通対策協力金、駐車場満空情報、交通規制、シャトルバス等の渋滞対策に関する情報を発信



▲Webサイトはこちら
<https://www.taisha-traffic.net/>

シャトルバスの運行



- 近年激しく渋滞が発生する神迎期間中の3日間に無料シャトルバスを運行
- 出雲大社から少し離れた道の駅ご縁広場～出雲文化伝承館を発着地として設定
- 大型バス3台で1日14往復

その他

2 効果検証

分析方法

例年と比べ対策を拡充した神迎期間中について、右図の3ルートの渋滞長、各駐車場利用率、渋滞対策の実施内容を時間帯別に整理し、各対策の効果を検証

検証項目	対策内容						
	交通規制	警備員	駐車場満空情報	臨時駐車場	シャトルバス	バスコントロール	
A 同一の令和6年11月における多客日間で、渋滞対策の実施の有無の違いを検証	令和6年 神迎期間(11/10,16,17)	○	○	○	○	○	○
	令和6年 11月3日 3連休中日(11/3)	-	-	-	-	-	-
B 神在祭における渋滞対策の実施の有無による違いを検証	令和6年 神在祭(11/11)	-	-	-	-	-	○
	令和5年 神在祭(11/23)	-	○	○	-	-	-
C 同じ曜日での神迎期間となった令和6年と令和3年の比較	令和6年 神迎期間(11/16,17)	○	○	○	○	○	○
	令和3年 神迎期間(11/25,26)	○	○	○	-	○	○

日付	時間帯	渋滞長(km)			最大総渋滞長	
		神門通り	稲佐の浜方面	ワイナリー方面		
R6.11.10(日) 神迎祭	12:00	0.5	0.1	0.4	1.0	
R6.11.16(土)	10:00	0.4	0.1	1.7	2.3	
R6.11.17(日) 神等去出祭	10:00	1.1	0.5	1.7	3.3	
R6.11.3(日・祝)	12:00	1.4	0.1	2.4	3.9	
R6.11.11(月) 神在祭	11:00	1.0	1.9	1.7	4.6	
R5.11.23(木・祝) 神在祭	12:00	1.1	0.5	1.7	3.3	
R6.11.16(土)	12:00	0.4	0.1	1.7	2.3	
R6.11.17(日) 神等去出祭	10:00	1.1	0.5	1.7	3.3	
R3.11.25(土)	11:00 12:00	0.0	1.2	0.8	2.0	
R3.11.26(日)	12:00	1.4	2.1	2.7	6.2	

対策をしていない日と比べて渋滞長が短縮

・渋滞が1.3km増
・神事の日では平日でも対策が必要

・シャトルバスの運行による効果は一定程度あり
・対策を実施しても2km以上の渋滞が発生

03 今後に向けて

- 対策を実施することによる効果が確認された一方で、2km以上の渋滞も発生しており、公共交通の利用促進強化も含めた検討が必要である。
- 11月の神迎神事では平日の公共工事等への対応のため警備員を配置できないこと、各種対策には多額の経費を要することなどから、駐車場管理システムや信号機・掲示板の設置などを進めて可能な限り自動化していくこと、そのための経費を交通対策協力金や駐車場有料化などで集めていくことが持続可能で効果的な対策実施に繋がると考えられる。

